

思い出に残る夏を——夏休みを前に——

健全育成シリーズ (37)

「夏休み、どうする？」
「おたくは、どうするの？」
これは、この春保育園を卒園し小学校に入学して三ヵ月たったお母さんの会話です。

四十日近くの夏休みを前にしてよく聞く会話のひとつです。

たしかに、初めて小学校へ入学させたお母さんにとっては悩みのたねになることの一つでしょう。

海も良い。遊園地へ行くのも良い。でもそう毎日出来ることではありません。

数年前のことですが、小学生が自転車で日本を横断しようとしていることが、テレビや新聞紙上で大きくとりあげられたことがあります。これは、ただ珍しいというだけでなく、世間を「はっ」とさせる出来事でした。

なぜでしょうか。ひとことで言うると、現代の子にあまりにも欠けている「子どもらしい大胆な冒険心」にあったのではないのでしょうか。

「この交通戦争と言われる時代によく親が承知したものだね。」「子どもの言うことに親が折れたのかしら・・・」

子どもの生活の中から夏休み中から出来ることを見

つけ出そう。ことばは簡単ですがいざ実行させようと思うとなかなか大変なことです。

そこで、子どもたちの、あそびやいたずらに目を向けて見たらどうでしょうか。

あそびが子どもの発達にとって不可欠なものであることは、わたしたち大人は知っています。

そして、さまざまな研究もされています。けれども、いたずらはあまり研



究されません。ましてやいたずらは、一般的に自慢にはならず、人間の裏舞台のように扱われています。

あそびもいたずらも共通点があります。「○○をしたい」という目標はあっても「○○せねばならぬ」という目標はありません。

けれども、あそびは結果として時には大人や友だちに迷惑をかけることがあります。でも、初めから迷惑をかけることを目的にはしていません。

この点がいたずらには違いますが、

初めから、多かれ少なかれ、他人に迷惑をかけることを意識していません。

そして、成功と失敗とが予測されるからこそスリルもあります。緊張感や知的工夫(?)が、あそびとは大きく違う点です。

大人が、少しでも他人に迷惑をかけることは絶対にいけません、と強固な考え方を堅持するならば、子どもたちのいたずらはなくなるでしょう。

しかし、わたしたち大人は、その成長過程において、決して他人に迷惑をかけずに成長してきたといえるでしょうか？むしろ他人に迷惑をかけつけられつて生きてきたと思えます。そういう関係から親友ができたり、温かい人間関係が生まれてきたのではないのでしょうか。

この夏は、子どもたちのあそびやいたずらを大きく見守りながら思いきり伸び伸びふるまわせたかどうかでしょうか。

そして、ある程度のいたずらを許容しながら、他人の立場、その心情、社会的かかわりなどをいきいきと感知、認識させていくことは、大人が子どもに負っている教育の一要素だと思えます。

少しは脱線しても良い。とにかく思い出に残るような夏を。子どもにとって、あそびは何よりの学習なのですから・・・。

青少年を非行から守る 全国強調月間

七月は、夏の開放期を控え、そして長期の夏休みを前にして、国民運動として青少年の健全育成に努めるための強調月間です。

*重点目標

- 基本的な生活習慣を身につけさせる
- 社会のルールを守るしつけをする
- 過保護に育てない
- 子どもの欲求に耳を傾けることはよいが、限度を考える
- 社会人が連係して、健全な環境づくりに努める
- 子どもを孤独に追いやらないための努力を忘れない

都留市青少年総合対策本部
市教育委員会
青少年育成都留市民会議

明るく健康な 家庭づくり研究会

日時 7月7日(金) 午後1時30分

会場 富士女性センター

講師 荒牧 重人先生 大研修室

演題 子どもの権利条約と大人の役割

主催 都留市青少年総合対策本部
市教育委員会
青少年育成都留市民会議



社会を明るくする運動

ふれあいと 対話が築く 明るい社会

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

期間 7月1日～31日
主催 法務省

「社会を明るくする運動」
都留市実施委員会

「社会を明るくする運動」作文コンテスト

主催 社会を明るくする運動山梨県実施委員会
対象 小学校、中学校に在学する生徒
テーマ 『犯罪や非行のない明るい社会を築くために思うこと、考えること』

原稿用紙 400字詰め5枚程度
表彰 優秀作品30編には、実施委員長賞などの表彰をし、そのうち優秀な作品3編を、法務大臣賞ほかの表彰の候補作品として法務省に推薦します。

応募先 市教育委員会社会教育課
締切 8月15日